

令和4年度第2回北信医療圏 地域医療構想調整会議	資料 1
令和5年2月10日	

地域医療構想に関する将来意向調査の結果等について

地域医療構想に関する将来意向調査の概要

- 各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しに向けた議論等を進めるため、県内の一般・療養病床を持つ公立・公的・民間病院及び診療所を対象に、「地域医療構想に関する将来意向調査」を実施。
- 今回の調整会議では、様式1の集計結果の概要を中心に説明させていただきます。(様式2の集計結果の概要については、令和5年度第1回調整会議で説明させていただく予定です。)

■ 調査期間

令和4年12月2日(金) ~ 令和5年1月13日(金)

■ 調査項目

【様式1】

1. 自院の現状

- (1) 許可病床数(令和4年7月1日時点)
- (2) 医師・看護職員の職員数(令和4年7月1日時点)
- (3) 診療科目(令和4年7月1日時点)
- (4) 入院基本料の届出状況(令和4年7月1日時点)
- (5) 自院の特徴と課題

2. 今後の方針

- (1) 自院の今後の方針(今後の圏域における役割、具体的な今後の方針)
- (2) これまでの調整会議に提出した2025年における対応方針の変更意向の有無
- (3) これまでの調整会議に提出した2025年における対応方針を変更する(しない)理由
- (4) 2025年・2030年における許可病床数の予定
- (5) 2030年における対応方針について
- (6) 地域(圏域)の課題と将来あるべき姿について

【様式2】

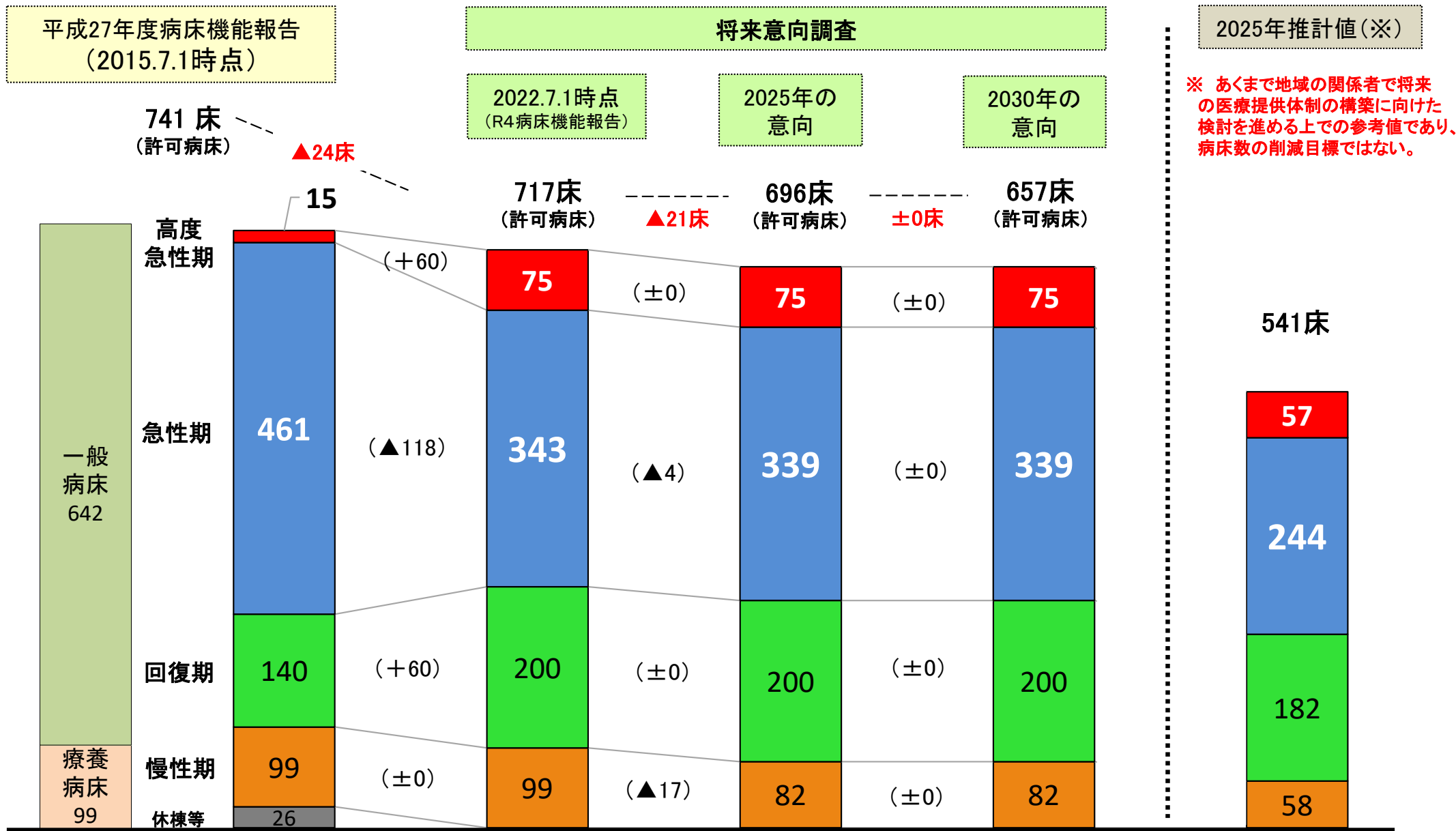
1. 現在担っている役割(※)(令和4年7月1日時点)

2. 2025年・2030年に担う予定の役割(※)の意向

※5疾病、3事業、新型コロナ、在宅など

様式1 調査結果 — 機能別病床数の意向 — (北信医療圏)

- 2025年の意向を集計した結果、2022年7月1日時点と比較すると、急性期から他の機能への転換が図られ、総病床数は21床減少する見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向と比較すると、機能別病床数、総病床数いずれも変わらない見込みとなっている。



様式1 調査結果 — 機能別病床数の意向 — (北信医療圏:医療機関別)

- 2025年までに、飯山赤十字病院は急性期を4床減、関整形外科が17床のうち15床を介護施設等に転換、2床を廃止する見込み。
- 2025年から2030年までの間には、いずれの医療機関でも機能転換等を行われない見込み。

【凡例】 A:2022年7月1日時点の機能別病床数 B:2025年における機能別病床数の意向 C:2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟等				介護施設等への転換				計										
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
厚生連北信総合病院	75	75	75	0	0	262	262	262	0	0	0	0	0	0	0	38	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	375	375	375	0	0
飯山赤十字病院	0	0	0	0	0	64	60	60	-4	0	180	180	180	0	0	44	44	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	288	284	284	-4	0
佐藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	20	0	0
病院計	75	75	75	0	0	326	322	322	-4	0	200	200	200	0	0	82	82	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	683	679	679	-4	0

有床診療所名	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟等				介護施設等への転換				計										
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
保倉産婦人科医院	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0
関整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	-17	0	0	2 (廃止)	0	2	-2	15	0	15	-15	0	17	0	0	-17	0
有床診療所計	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	-17	0	0	0	0	2	-2	0	15	0	15	-15	34	17	17	-17	0

総計	75	75	75	0	0	343	339	339	-4	0	200	200	200	0	0	99	82	73	-17	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15	-15	717	696	696	-21	0
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	------------	------------	------------	-----------	----------	------------	------------	------------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	----------

様式1 調査結果 — 今後の圏域における役割の意向 — （北信医療圏）

○ 各医療機関の今後の役割の意向は以下のとおり。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・ 専門	② 軽症 急性期	③ 地ケア	④ 回りハ	⑤ 長期 療養	⑥ 特定 診療	⑦ かかり つけ	
厚生連北信総合病院	病院	◎	○	○		○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・北信医療圏の医療を守るため、診療体制の堅持、更なる充実を図る。 ・行政、自治体、消防、医師会、他医療機関との連携強化。 ・医師確保による診療体制の強化。 ・最新の知見に基づいた高度医療の提供。 ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、コロナ対応継続。 ＊「今後の圏域における役割の意向」は仮であり、地域医療構想調整会議等の中で、相互理解を通じて選択されて行くものと認識している。
飯山赤十字病院	病院		◎	○	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・医師を含めた医療スタッフの確保。 ・人口減少に応じた病床数の適正化。 ・北信総合病院との連携と機能分担。(ポストアキュート患者の受入)
佐藤病院	病院				○		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・内科、心療内科、精神科、リハビリテーション科を中心に回復期の医療を提供していく。
保倉産婦人科医院	診療所						◎		<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持
関整形外科	診療所			○		◎			<p>地域の高齢化から長期療養が必要な慢性期患者の受入等の機能を発揮していきたい。なお、2024年4月に介護医療院へ転換する予定であり、地域の介護医療を支える介護施設として貢献するとともに、引き続き継続していきたい。</p>

様式1 調査結果 — 各医療機関が抱えている課題 — (北信医療圏)

- 各医療機関が抱えている課題は以下のとおり。
- 様々な課題がある中で、共通している課題としては、**医師やコメディカル等の医療従事者確保、行政との連携等**が挙げられる。

医療機関名	病診区分	自院の課題
厚生連北信総合病院	病院	<p>新型コロナに対して世の中と医療機関との認識が大きく乖離して行く中、感染力が増したコロナの患者を止めどなく受入れ続けなければならない状況にある。</p> <p>圏域内には、コロナ患者の転院先(後方ベッドや施設)がほとんど無く、当院で入院治療を完結させなければならない。このため、特に例年患者が増加する冬場の病床逼迫時において、コロナ患者を受入れながらの一般診療の維持・救急患者の受入れ対応が大きな課題となる。</p> <p>外来においては、発熱外来への電話が鳴り止まず、コロナ患者で病床が逼迫する中、病棟から人材を発熱外来に投入せざるを得ず職員に大きな負担となっており、当院を含む地域全体でのコロナ対応が課題である。</p> <p>新型コロナは、全圏においてほぼ同時多発的に発生するため、他の医療圏を頼れない状況に陥ることが明確となった。これは医療圏毎に医療を完結せざるを得ないということを意味しており、今後の大きな課題と認識している。</p> <p>医療圏における医療の完結を目指す必要がある中、外来医師偏在指数が低いこの地域において、紹介受診重点医療機関の制度導入は、地域全体の診療体制を混乱させる要因になるのではないかと懸念する。今後も当院は一部診療所的機能を担わざるを得ないと認識しており、紹介受診重点医療機関への対応が課題である。</p> <p>コロナに関する補助金縮小傾向の中、コロナ患者を受け続けながら経営の安定化が課題である。また、一般診療においても将来を見据えた施設・整備への投資に係る財源確保が課題である。諸物価高騰の折、当地域のように公立病院がない医療圏への行政からの補助金・交付金等の適正な財務的な支援なくしては、当地域にとって必要な医療資源の確保と維持は今後困難になってくると考えられる。</p> <p>当医療圏のような地域における中核病院とは、地域住民にとって欠くべからざるインフラのひとつであり、国が一律に示す地域医療構想の考え方と齟齬が生じている。地域医療構想と地域の実情を擦り合わせながら、地域に合った枠組みを構築していく必要がある。</p>
飯山赤十字病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者医療に対応するため、複数の整形外科と内科(総合診療科)の医師確保。 ・在宅医療を維持するための行政とのタイアップ。
佐藤病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な医療従事者の確保、コロナ過においてかなり従事者の新規採用確保が難しい。また、コロナ過における現従事者においても、感染者や濃厚接触者となり人手の確保が難しく、慢性的な人手不足となっています。
保倉産婦人科医院	診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
関整形外科	診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な医療従事者の確保、スタッフの人員不足、高齢化(特に看護師、介護福祉士)

様式1 調査結果 — 地域(圏域)の課題と将来あるべき姿について — (北信医療圏)

- 任意回答でお答えいただいた内容は以下のとおり。
- 地域の課題としては、自治体・消防・医師会・医療機関等の地域の関係者間の情報共有・意思疎通に基づく連携強化、救急医療体制にかかる役割分担や人的支援の再検討、在宅医療に関する課題(高齢者の自宅退院に苦慮するケースの増加、訪問診療等のサービス縮小)などが挙げられている。
- あるべき姿としては、北信医療圏において医療が完結していることなどが挙げられている。

医療機関名	病診区分	地域(圏域)の課題と将来あるべき姿
厚生連北信総合病院	病院	<p>地域に暮らす人々の心身の健康を保護し安心安全な医療を提供するためには、前述のとおりこの北信医療圏内において医療を完結できることが、医療圏としてのあるべき姿であると考えます。</p> <p>北信医療圏内において医療を完結させるためには、現在の病床数の確保は必須であり、これを維持できなければ、この地域の医療を守るという役割は果たせないと考えます。</p> <p>この北信医療圏におけるあるべき姿の構築に向けて、2つの中核病院が診療機能を一部オーバーラップさせながらも、各々の医療機関の特徴を活かした役割分担が必要となる。その実現のためには、行政・自治体・消防・医師会・他医療機関との情報共有・意思疎通に基づく連携強化が不可欠であり、地域全体の課題として取り組んで行くことが重要である。</p>
飯山赤十字病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制にかかる役割分担や人的支援の再検討。 ・高齢者の自宅への退院に苦慮するケースが増加しているため、在宅医療が可能になるような施策を期待する。
関整形外科	診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療等の在宅医療サービスの縮小が懸念される。

今後の進め方(案)

— 令和5年度における各医療機関の対応方針の協議方法について —

【病院の場合】

- 自院の対応方針が作成でき次第、今後開催される調整会議に出席いただいた上で、自院の対応方針の内容について、説明いただくようお願いいたします。
(調整会議に参画いただいていない病院にも出席(対面orオンライン)をお願いすることといたします。)
- 対応方針の作成状況については、各回の調整会議を開催する前に、保健福祉事務所から照会・確認させていただきます。対応方針の作成が完了している場合には、改めて調整会議への出席・説明を依頼させていただきます。(出席・説明を依頼する調整会議については、各病院の対応方針の作成状況や各回の議題の多寡等を踏まえ、事務局において調整させていただきます。)

【有床診療所の場合】

- 将来意向調査で回答いただいた内容を対応方針として取り扱わせていただき、次回の令和5年度第1回の調整会議において、県から各有床診療所の対応方針を説明し、協議させていただきます。(調整会議への出席をお願いする予定はございません。)
- 調整会議での協議結果は後日共有させていただきますが、継続協議となった場合には、必要に応じて、継続協議の対象となった有床診療所に調整会議への出席を依頼させていただきます。

今後の進め方(案)

— 令和5年度における各医療機関の対応方針の協議方法について —

- 調整会議で説明いただく資料については、以下を想定しております。
- 共通様式については、3月中を目途に、将来意向調査の集計結果(圏域ごと)と合わせて、将来意向調査の対象である病院に送付させていただきます。

【調整会議で説明いただく資料】

① 公立病院の場合

- 「公立病院経営強化プラン」(案)の概要版(※)

※様式は任意とし、2025年における機能別病床数が明記されたもので説明をお願いします。

② 公的医療機関等の場合

- 2025年における対応方針(共通様式)

③ 民間病院の場合

- 2025年における対応方針(共通様式)

本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(修正案)

	令和4年度			令和5年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回	必要に応じて開催	第2回	必要に応じて開催	第1回	第2回	第3回
	1. 各医療機関の対応方針の策定や検証・見直し 2. 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証					令和5年度末までに完了	
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位調整会議			第1回				第1回
将来意向調査		実施					

■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

次期医療計画(案)へのご意見をいただくため開催

【令和4年度第2回】

- 将来意向調査の結果

【令和5年度第1回】

- 各医療機関の対応方針について(病院・有床診)
- 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証について

【令和5年度第2回】

- 各医療機関の対応方針について(病院)
- 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証について

【令和5年度第3回】

- 各医療機関の対応方針について(病院)
- 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証について